

カメのダーリン

ある小さな池のそばに、カメのお母さんが住んでいました。お母さんガメには、3びきのかわいらしい赤ちゃんガメがいました。赤ちゃんガメの名前は、ダーリン、ターボ、それにジーといました。

ある日、お母さんガメは、泳ぎを教えるために、赤ちゃんガメたちを池に連れて行きました。ターボとジーは、すぐに池の中に飛びこみました。最初はちょっとおっかなびっくりでしたが、じきに水になれ、やがてキャッキヤいいながら泳ぎ回り始めました。

でも、ダーリンは水に入れませんでした。ほかの子たちはすごく楽しんでいましたが、ダーリンは水がこわかったのです。

お母さんガメが言いました。「ダーリン、水がこわいのね。だけど、ちょっと入ってみたら。気に入るかもしれないわよ。ついてらっしゃい。お母さんがすぐそばにいてあげるから。いつでも助けてあげるわよ。」

ダーリンはお母さんの後について、しぶしぶと池のそばまで行きました。それから、そう〜と、そう〜と、冷たい水に足をつけてみました。片足を入れて、それからもう一方の足も入れました。そしてついに、浅い所で全身水につかりました。





すると、最初は体が地面からはなれたので、
ダーリンはびっくりしました。

「だいじょうぶよ。水が体を浮かせてくれるから、
ダーリン！」なだめるようにお母さんガメが
言いました。ダーリンは少しずつ落ち着いてきて、
水に体をまかせないようにしました。

やがて、ダーリンはプカプカと浮きながら池を
横切りました。その後は、水の中にもぐってみました。
水の中に広がる世界を見ると、ダーリンは夢中
になってしまいました。水草が水の流れてゆらゆら
なびいています。魚も、行ったり来たりしながら
あちこちを泳ぎ回っています。この水中の世界に
入って新しいことを身につけるのをお母さんガメが
助けてくれたことを、ダーリンはとても感謝したのでした。

教訓：新しいことをするのは、ちょっとこわいこともあるかもしれないね。それか、自分には無理だって思えるかも。だけど、信じる心さえあれば、いいんだ。ちょうど、水がカメの子をささえてくれたように、わたしも君をささえてあげると信じればいいんだ。ダーリンは水に浮いたり、水の中を泳いだりできたね。君も、わたしのうちであって休んだらいいんだ。そしたら、わたしが君を守ってあげよう。決して、がっかりはさせないからね。-イエスより
